

活動報告書

【地域の方との学習の様子（総合的な学習の時間を中心に）】

各学年学校周辺に出かけて、地域学習を実施。地域の方にご指導をいただきながら地域を知る学習を進めている。



（第4学年総合的な学習の時間）



（第5学年社会科）

【地域懇談会・2月】

今年度は青少年健全育成推進会副会長の伊藤淳一氏を講師に招き、福島キワニスクラブの活動について講話をいただいた。児童生徒への慈善事業に力を入れている方の話を聞くことで地域力の向上に努めている。

■福島キワニスクラブ活動のご紹介

□福島県立医科大学附属病院小児科様
こども絵本贈呈「2022年12月22日」

2009年より13回目となるこども絵本の寄贈。今年は、図書、絵、プラレールや人生ゲームなどの玩具もリクエストいただき、こども達の希望に沿った寄贈を行うことができました。コロナ禍のため、短時間での寄贈となりましたがご対応いただきました久保看護副師長からお礼の言葉をいただきました。

【久保看護副師長より】入院しているこども達にとって大変厳しい生活の中断し本や玩具に触れることができ、気持ちが明るくなると思っています。こども達も大変喜ぶと思います。毎年、本当にありがとうございます。今後とも、よろしくお願いたします。

□特定非営利法人ビーンズふくしま様
こども食堂へ5万円の寄付「2022年6月1日」

NPO法人ビーンズふくしま様は、不登校の子どもや引きこもりの青年などに安心できる居場所を提供し、ひとりひとりに寄り添って、ゆるやかな社会参加を促し、その自立を支援している団体です。

ビーンズふくしま様は、福島市内のこども食堂運営と30ヶ所以上に支援活動をしており、キワニスクラブとしてもこども食堂の支援活動の為に、5万円の寄付をいたしました。

□福島県立だて支援学校様
キワニスドール40個と5万円寄付の贈呈「2022年6月15日」

福島県伊達市にいままで支援学校がなく、子供たちは遠方の支援学校に通学をしていましたが、伊達地区特別支援教育に関わる方々の熱意と情熱により、今年度4月に伊達市に初めて支援学校が開校いたしました。

今回、支援学校からなかなか言葉で表現できない子どもたちが多く是非キワニスドールを活用したいとお話があり、キワニスドールの贈呈が実現し、キワニスドール40個と、こども図書購入用として、5万円の寄付をいたしました。

□キワニスワンデー開催「2022年11月23日」

場所：福島県青少年会館

特定非営利活動法人ビーンズふくしま様、一般社団法人福島県環境測定・放射能計測協会様3団体で子供支援のキワニスワンデーを開催いたしました。

福島キワニスクラブ
事務局 株式会社 ユアテック
福島支社 小笠原 鈴木
電話 024-546-5141

Kiwanis

福島キワニスクラブ

SERVING THE CHILDREN OF THE WORLD
世界の子どものために

2022年～2023年

青少年健全育成だより

No.2

発行者

会長 西坂敏夫・広報部会

令和6年度各部の記録

御山地区大運動会(御山地区体育協会)
令和6年.10.6

町内対抗で、大人も子どもも元気にいい汗をかきました。

正月用輪通しづくり(健全育成部会)

令和6年.12.15



御山敬神会の皆様や地域の方々に協力いただき、お正月に飾る輪通しを親子で作りました。

御山太々神楽(健全育成部会)

令和6年.12.15



市指定無形民俗文化財(昭和54年指定)の御山太々神楽を披露いただきました。稚児は御山の児童です。

健全育成分庫の寄贈(健全育成部会)

令和7年.1.24



※(写真後) 寄贈した本棚です。

今年度も御山小へ図書を送ることを楽しみにしています。多くの子ども達に読書の楽しさを味わってほしいと願います。

御山小学校創立30周年記念の年に

御山小学区青少年健全育成推進会長 西坂 敏夫



1. 御山小学校創立30周年支援事業：図書室の書架と音楽室の長机を寄贈

今年度の「青少年健全育成だよりNo.1」でお知らせしましたように、御山小学校の周年行事等への支援を目的にした本会の積立金特別会計(毎年度5万円の積立て)より、20周年以降と今年度分、合わせて55万を寄附いたしました。御山小PTA・御山小同窓会・御山地区並びに京地区町内会連合会・御山地区共有地管理組合などからの協賛寄附もあり、図書室の書架と音楽室の長机を寄贈することができました。

子ども達が読書に親しみ、喜んで音楽活動を楽しむなど、豊かな情操を培うことに大いに役立つことと存じます。



2. 「みつけたよ！わたしのキラポイント」の募集

昨年度、福島学院大学の佐藤剛行氏から「日本の青少年は、自己肯定感が低い」という講話を拝聴しました。そのようなことから、今年のテーマを設定しました。

御山小の児童123名から応募がありました。「人にやさしく助けてあげる」「みんなを明るく元気にする」「根気強くがんばる」「〇〇が得意である」など、子ども達は、それぞれ自分のよいところや得意なことをみつけて書いてくれました。

これから自分自信を持って、よいところ、得意なことをより一層伸ばしてほしいと思います。私たち大人は、たとえ小さなことでも、「そんなことはみんなやっている」「出来て当たり前でしょ」ではなく、よいところを「ほめてあげる、認めてあげる」姿勢で子ども達を育んでまいりましょう。

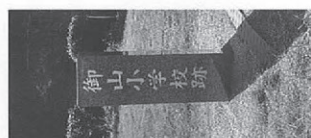
3. 歴史は繋ぐ～明治時代の「御山小学校跡」の石柱設置

今年は御山小学校30周年ということで、明治時代に御山村の小学校が存在していたことについても「青少年健全育成だよりNo.1」に記載いたしました。このほど石柱が設置されました。

福島市の「共創のまちづくり」事業の一環として、令和3年度より各地区にまちづくり計画推進懇談会が組織されました。

この石柱設置は、今年度の御山地区まちづくり計画推進懇談会の事業です。側面に「明治15年(1882)この地に御山小学校新築する。木造平屋造りの校舎(建坪24坪、教室合計18坪)当時の御山108戸、449人。明治22年(1889)五か村合併し、清水村成立。清水尋常小学校御山分校と改称。明治25年(1892)分校を廃して本校に合併する。」と刻字されています。場所は、七曲りの登り口、御山公園の所です。

歴史は繋がっていることを実感します。散策に訪れて先人に思いを馳せてはいかがでしょうか。そして歴史を繋ぐ、次代を担う地域の子ども達を見守り育ててまいりましょう。



令和6年度活動資料

森合地区青少年健全育成推進会

1 事業名 正月飾り作り教室

2 日 時 令和6年12月23日(土) 8:30~11:00

3 場 所 森合小学校 体育館

4 参加者 61名

5 活動の実際

・準備1



・準備2



・制作1



・制作2



・完成品



飯坂地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 活動内容

飯坂地区青少年健全育成推進会では、通年をとおして、町内・祭礼パトロール活動を実施。加えて、あいさつ運動の紹介や標語募集の案内、また、標語入賞作品の紹介等地域への青少年健全育成を啓発する内容を記載した、青少年健全育成だよりを年2回発行し飯坂地区全戸に配布した。このような活動をとおして地域で子どもたちの健全育成・非行防止の図る活動を展開している。

2 活動の様子



（祭礼パトロール出発の様子）



（標語コンクール表彰式）

平野地区青少年健全育成推進会

会長 根本 眞

コロナ禍5年の歳月の中で平野地区の青少年健全育成に関する環境が激変してしまいました。子供会連絡協議会の突然の解散や各町内会子供会の会員数の減少がその一例です。



全体研修会

青少年健全育成推進会のスローガンである「地域の子供は地域で守り育てる」を推進するにあたり、互いに関わり合い情報交換ができる協力体制が必要になっていきます。小中学校PTAの活動内容が見直され、効率化が図られています。このことは今までの地域を巻き込んだ諸活動によって培われた人と人とのつながりが希薄になり、地域の中に分断が生じてしまう恐れがあります。また、各町内会における子供会活動への協力体制はできているでしょうか。子供会の役員が孤立した状態になっていないでしょうか。平野の未来を担う子供たちが安心・安全に生活でき明るい笑顔の絶えない地区となるように保護者の皆さんが交流できる場を存続することは大切なことと思われまします。

今年度の第38回「少年の社会参加活動」は基本計画に戻り、地域探訪とクリーン活動を開催いたしました。



ひらのふるさとたんけんクリーン活動

参加案内を該当地域ではなく小・中学校児童生徒および家族を対象に変更いたしました。初めての試みで事務局には負担をかけましたが、このシステムが定着するように進めてまいりたいと思います。今回は古内顧問・木村副会長さらに福島県農業総合センター果樹研究所所長志村様・自修団西牧様・医王寺住職橋本様よりわかりやすい説明を受けることができ充実したものとなりました。アフターコロナの日常への回帰を求めつつ、スローガンである「大人がかかわれば 子供も変わる」を再認識して子供たちが健全に成長できる平野を目指してまいります。

《本部役員》

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
1 顧問	石渡 宋吉	16 健全育成活動副会長	原田 茂浩	31 市少年補導員	佐藤 里美
2 顧問	岡内 利勝	17 健全育成活動副会長	大槻 吉弘	32 市少年補導員	鈴木 太
3 会長	根本 眞	18 非行防止活動副会長	齋藤 尊	33 市少年補導員	紺野 高弘
4 副会長	長木 信幸	19 非行防止活動副会長	佐藤 一朗		
5 副会長	長木 菊地	20 非行防止活動副会長	渡辺 弘記		
6 庶務	岡井 晴彦	21 非行防止活動副会長	佐藤 孝幸		
7 会計	渡邊 知幸	22 非行防止活動副会長	吉田 実		
8 監事	相野 勝弘	23 非行防止活動副会長	今井 幸子		
9 監事	佐藤 謙一	24 非行防止活動副会長	清野 佳世		
10 指導員	渡邊 裕樹	25 環境安全活動副会長	中村 孝雄		
11 指導員	佐藤 裕子	26 環境安全活動副会長	紺野 高弘		
12 健全育成活動副会長	小野 克彦	27 環境安全活動副会長	加藤 岳洋		
13 健全育成活動副会長	阿部 正行	28 環境安全活動副会長	今野 敬樹		
14 健全育成活動副会長	相野 和宏	29 環境安全活動副会長	佐藤 孝幸		
15 健全育成活動副会長	清野 邦洋	30 市少年補導員	紺野 律子		

《市青少年健全育成推進員》

役職名	氏名
1 市青少年健全育成推進員	西牧 裕子
2 市青少年健全育成推進員	橋本 弘史
3 市青少年健全育成推進員	山岸 裕

平野地区青少年健全育成推進会



第103号
令和6年8月24日
発行日
根本 眞
青少年健全育成推進会(平野小内)

私の朝のルーティーン

福島市立平野小学校 校長 渡邊 裕樹



平野小学校に赴任して3年目になりました。

私は毎朝、6時40分に家を出ます。国道13号線を車で走り、6時55分から7時の間に学校に到着します。教頭先生が用意してくれた書類等を目を通し、7時15分を目安に、県道3号線いわゆる飯坂街道上で、飯坂電車の音を聞きながら子どもたちの登校を待つことにしています。

時には私が学校の玄関を出たときには、もう昇降口の前で子どもがいることもありま

す。7時20分を過ぎると早い子どもたちがやってきます。「おはようございまーす」という元気にあいさつが響きます。徐々に子どもたちの数は増えていき、7時30分を過ぎた頃、ピークに差し掛かります。

小学生の子どもたちはもちろん、中学生たちもあいさつや会釈をして歩いて行きます。小学校で直接会うことがなかった高校生たちも、自転車に乗りながら、毎日、会釈してくれ

ます。近くに住んでいらっしゃる方々は「毎日ご苦労様ねー」といいながら笑いかけ

てくれます。自転車や歩きで平野駅に向かっている方々とも、すっかり顔見知りになりました。

毎日、子どもたちと一緒に学校まで送ってきてくださるお父さん、お母さんも、子ども

ちに負けない明るいあいさつをしてください

ます。少しずつ、送ってくる距離を短くして

りしている様子や白線の中を歩くよう教えて

いる姿を見て、微笑ましく感じたりします。車

車で送ってくる保護者さんもいます。車の

なかから会釈をしてくださる方も多くいま

す。ながにはわざわざ窓を開けてあいさつし

てくださる方もいます。通勤時間等もあり、急

いでいる方もいらっしゃるのですが、子

どもの横断に、みなさん笑顔で協力してく

だします。

青少年健全育成推進会の根本会長は、「地

域の子どもは地域で守り育てる」ということ

をよくお話しされますが、まさに今の平野の

姿と重なって見えてきます。あいさつや笑顔

など、まさに「ゆずり葉」のように、祖父

や父母から、それらが脈々と受け継がれて

いることを感じます。8

時頃になると、いよいよ私の勤務開始の時刻

も迫ってきますので校

長室に戻ります。

私の平野小学校での

朝はこのように始ま

ります。毎日、同じ小

中学校の子どもたち、

高校生の学生さんたち、保護者の皆様、地域

の皆様と出会うなかで幸福感を感じ、「今日

も一日頑張ろう」と思っています。



第29回湯野・東湯野子どもの集い

定番の輪投げ



つくって遊ぼう(パッチンガエル)

福島市ドリームアップ事業
中学生の職場体験報告

結構ハマるマグダーツ



大人が熱くなるじゃんけん大会



奥が深い!? ディスゲッター



楽しいポッチャ



ぼくの入団している湯野バレーボールスポーツ少年団の今年度の活動を紹介します。ぼくたちは、毎週火曜日と木曜日の夕方六時から八時まで練習をします。土曜日は午後一時から四時、日曜日は午前九時から四時まで練習します。一年間に大きな大会が四つあり、その大会での三位入賞を目標に日々の練習をがんばっています。大会が近づくと、練習試合もします。今年度は、相馬やいわき、白沢、三春、中島村などに行き、県内や県外のチームとたくさん試合をしました。監督は「いつも通りにやれ。」と言いますが、きちょうもするのでなかなか難しいです。今年度は、県北大会はすべて優勝し、『全日本バレーボール小学生大会』、『福島県総合体育大会』、『福島県小学生バレーボール選手権大会』では、ベスト8入賞でした。他にも公式以外の大会も多く、それらの大会でも良い成績をおさめることができました。特に、ぼくたちのチームは初めて『ねっとう杯』という大会を主催して、試合だけでなく準備もがんばりました。

バレーボール以外にも湯野スポーツ少年には楽しい行事がたくさんあります。例えば、毎年夏には監督の家でバーベキューをします。おいしいお肉やそうめん、かき氷を食べます。そして、自分たちで持ちよった水でつぼうで思う存分遊べます。他にも合宿や忘年会など楽しいことがいっぱいあります。

現在、団員十四名です。他のいろいろな小学校から参加しています。見学からでもよいので、ぼくたちの活動を見に来てください。いっしょにバレーボールをしましょう！

湯野バレーボールスポーツ少年団主将
小野 結護

西根ソフトボール少年団は、毎週土曜日と日曜日の午前中に東湯野小学校のグラウンドで練習を行っています。

現在の団員数は、五年生三人、四年生三人、二年生一人の計七人です。現在団員数が少ないため、平野小学校のスポーツ少年団と合同チームを組んで試合に出場しています。

現在の子供達は、学校でもメディアコントロール週間(メディアに接する内容を把握し制限、コントロールする週間)があるように、お家での動画視聴やスマホ、ゲームの時間が長く規則正しい生活ができなくなっています。

そんな時、お子さんに「友達と外で元気に遊んでほしい」「何かスポーツをしてほしい」「体を動かして体力をつけてほしい」と思う事はありませんか？

西根ソフトボールスポーツ少年団は、ソフトボールを通じて体を動かす楽しさや、基礎体力の向上、礼儀作法を学び仲間との絆や努力することの大切さ、勝つ事の喜びを経験し、学年を問わずみんなで仲良く時には厳しく練習を行っています。保護者の方には、安全のためグラウンドまでの送迎をお願いするようになりますが、お茶当番などはありません。

練習では、経験豊富な指導者が一人一人丁寧に指導してくれます。

ソフトボール初心者大歓迎
一年生から五年生までの男子・女子
みんなと一緒にソフトボールをやってみませんか？

まずは、見学からでも大丈夫です。
是非グラウンドへお越し下さい。

西根ソフトボールスポーツ少年団

保護者代表 田村 真由美

茂庭地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 事業内容

茂庭地区青少年健全育成推進会では、茂庭地区スポーツ協会が主催する事業のうち、世代間交流や子どもたちの体験の活動の場を提供する各種事業に継続して協力しています。

また、夏休み期間中にキャンプ場の巡回補導活動（併せて清掃活動）を行うなど、地域で子どもたちの健全育成・非行防止を図る活動を実施しています。

2 事業の様子



（キャンプ場巡回補導の様子）

松川地区（小学区）青少年健全育成推進会**【異世代交流つり大会】**

9月28日(土) 親子・地域の方で新潟西港へ海釣りに行ってきました。天気にも恵まれ、和気あいあいと異世代交流を深めながら釣りを楽しみました。

総勢22名の参加者で、思い出に残るとても楽しい1日を過ごすことができました。

**【しめかざり作り】**

12月7日(土)、地域の方を講師にお招きし、正月に飾る「しめかざり作り」を行いました。講師の先生にやさしく手ほどきを受けながら、日本の伝統文化であるしめかざり作りにチャレンジしました。はじめは難しそうな子どもたちでしたが、最後には世界で一つしかないしめ飾りを作り上げることができました。終了後には、参加者全員でおいしい芋煮を食べ、心も体も温くなりました。



令和6年度活動資料

金谷川地区(小学校区)青少年健全育成推進会

1 活動内容

金谷川地区青少年健全育成推進会では、通年をとおして、登下校時の通学路の見守り活動を実施したり、夏休み中の危険箇所の点検をしたり、地域で子どもたちの健全育成を図る活動を展開している。

その他、読書による心の教育推進、環境美化奉仕作業、資源回収、情報モラル教室などの活動を実施している。また、今年度も松川地区推進会のカルタ大会にも参加し、他校との交流を深めることができた。金谷川小学校の閉校に伴い、次年度からは松川地区が一つとなり、青少年の健全育成に取り組んでいく。



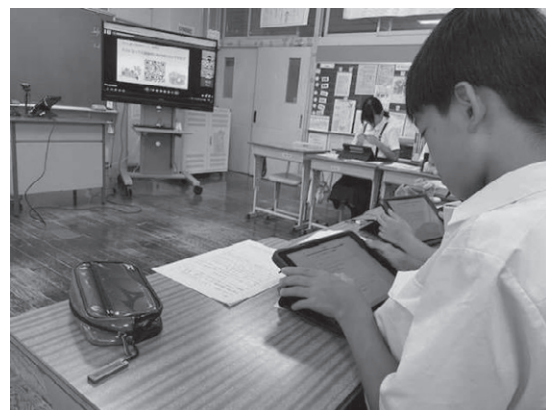
(読書推進活動の様子)



(環境美化奉仕作業の様子)



(資源回収の様子)



(情報モラル教室の様子)

令和6年度活動資料

下川崎地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 活動内容

下川崎地区青少年健全育成推進会では、通年をとおして、あいさつ運動や通学路の見守りの下校パトロール活動を実施している。加えて、花いっぱい運動として通学路のマリーゴールド植栽や夏休み中の夜間パトロール（巡回補導活動）を行うなど、地域の子どもたちの健全育成・非行防止の活動に取り組んでいる。

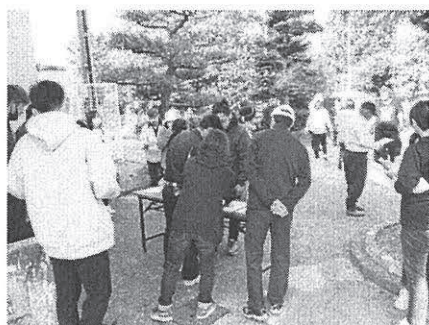
その他にも、地区内の危険箇所点検や下川崎地区独自の「子ども緊急ひなん家」マップの作成、通学路や学校敷地周辺の除草剪定作業をし、安心安全な地域づくりを行っている。

2 活動の様子

【花いっぱい運動マリーゴールド植栽】



(地区内の危険箇所点検)



大森地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 事業内容

大森地区青少年健全育成推進会では、世代間交流と子どもたちの学び・体験の活動が場を提供することを目的に、地域子ども応援事業を継続し実施しています。

本事業では、元プロ野球選手の鈴木 哲様を講師としてお招きし、演題「スポーツから学ぶこと」について、スポーツの意義や楽しさを子どもたちと地域の皆様に講演いただきました。実技演習も取り入れ、楽しい時間を過ごすことができました。

2 事業の様子



（実技演習の様子）



鳥川地区青少年健全育成推進会

1 活動内容

鳥川地区青少年健全育成推進会では、地区内の（交通安全母の会、消防団、補導委員、民生児童委員等）各種団体と協力し、事故の絶無を期して通年で登下校時の「ながら見守り」運動の実践を継続している。また、夏季休業前の危険箇所点検、夏季休業中の街頭補導、着衣泳講習会など各種活動を展開している（着衣泳講習会は、屋内で講習した後にプールで実習した）。

さらに、昨年度より再開された「鳥川杯」（ティーボール球技大会）を通じて、地域の大人や保護者と子ども、子ども同士がそれぞれ交流の中で絆を深めることができた。また、鳥川地区の中に含まれる成川地区は、小学校区では吉井田小と鳥川小へ二分され、中学校進学時に同じ信夫中学校学区となるため、なかなか交流を図る場がないという課題があった。これを受けて、今年度からは鳥川小学区だけではなく、吉井田小在籍で成川地区在住の児童（成川東こども会）にも声をかけることとした。その成果として、吉井田小6名の参加を迎え、計30名の異学年児童が楽しく交流を図ることができた。同じ中学校区の児童が学童期に交流できたことは大変意義深い。

そして、これらの活動の様子は、2月に「健全育成だより」を発行、鳥川地区内全戸に配付してお知らせしている。広報誌配付を通して、活動へのより一層のご理解・ご協力を求めるとともに、青少年健全育成の啓発に努めている。

2 活動の様子



着衣泳講習会



鳥川杯

平田地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 事業内容

平田地区青少年健全育成推進会では、「家庭・地域と連携・協働し、地域とともにある学校」を目指す平田小学校の子どもたちの体験学習や諸活動をサポートする一環として、PTA教養講座の支援・協力を行っています。

子どもたちの健やかな成長には、命を守ること、つまり地域の安心・安全は欠かすことができません。地域で青少年の健全な育成を図るため、救急法について地区推進会会員や保護者を対象とした研修会を開催しました（令和6年11月7日開催）。

2 事業の様子



令和6年度活動資料

平石地区(小学区)青少年健全育成推進会

【活動内容】

令和6年度、平石地区青少年健全育成推進会では、平石地区青少年健全育成推進員と平石小学校父母と教師の会が「子どもたちの健やかな成長のために」と協力し、プール清掃やクリーン活動を実施した。

また、地区夏祭りが本校で開催され、子どもたちも地域の方々と交流することを通して、平石地区の良さや地域のあたたかさやつながりを実感することができた。

1 プール清掃(令和6年5月25日)



2 平石地区夏祭り(令和6年8月14日)



3 クリーン活動(令和6年11月16日)



令和6年度活動資料

野田地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 活動内容

野田地区青少年健全育成推進会では、地区の小中学生を対象に「明るい家庭を築き、事故や非行のない明るい野田地区をつくる」ことを目的とし、標語コンクールを実施し、作品を地域等に知らせることを通して、地域で子どもたちの健全育成・非行防止を図る活動を行っている。

また、環境美化意識の高揚及び自然を愛する気持ちをはぐくむため、「花いっぱい運動」を実施した。プランターで花づくりを行い、地域の施設に寄与することを通して、地域コミュニティの活性化を図った。

2 活動の様子



(標語表彰式の様子)



(花いっぱい運動の様子)

令和6年度 地域子ども応援事業活動報告

庭坂地区青少年健全育成推進会

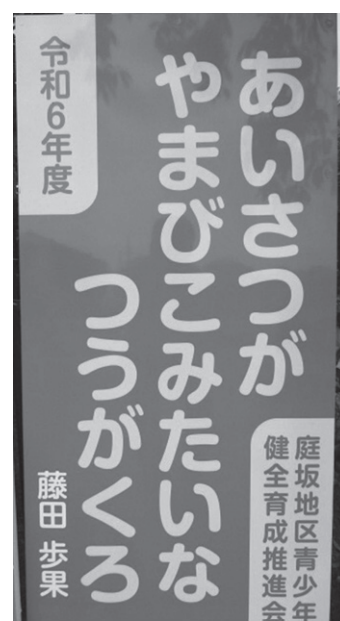
1 明るい地域づくり標語コンクール

庭坂小学校児童を対象に「防犯」、「交通事故防止」、「非行防止」をテーマとした標語コンクールを行っています。青少健の役員が標語の審査を行い、入賞作品を選びました。入賞者、参加者には商品を贈呈し、活動を盛り上げました。また、庭坂地区全家庭に入賞作品が印刷されたクリヤーケースを配布しました。

さらに、最優秀作品は立て看板にして、地区内に設置することで、啓発をはかっています。



歴代の最優秀作品



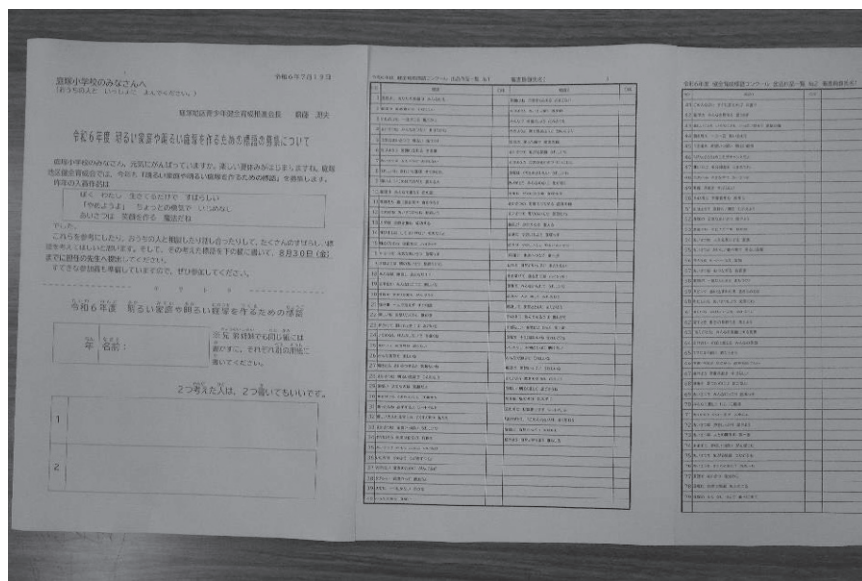
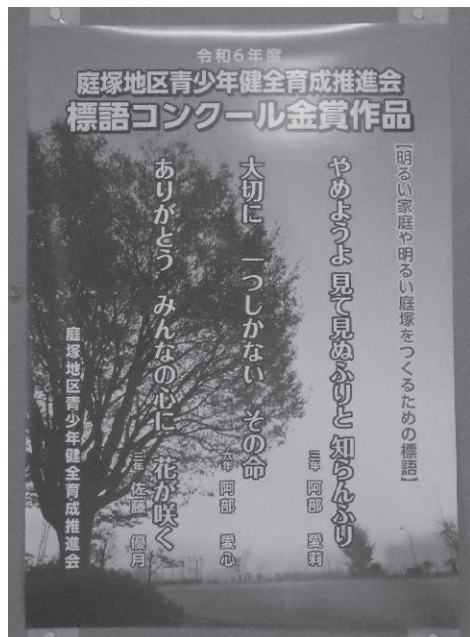
令和6年度の最優秀作品

令和6年度活動資料

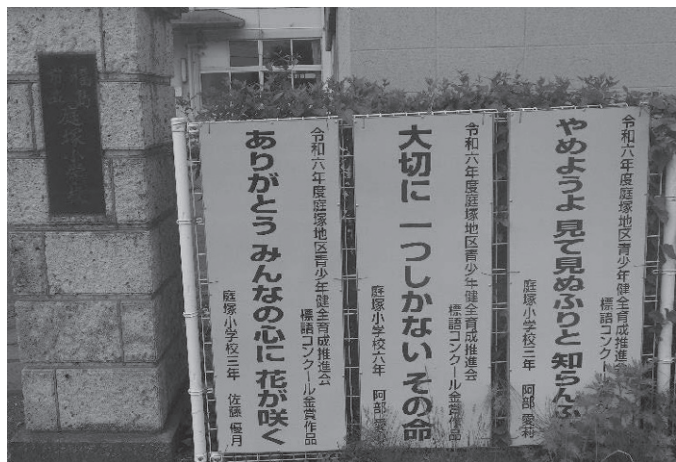
庭塚地区青少年健全育成推進会

【庭塚地区標語コンクールについて】

全校児童から、標語作品を募集し、79名全員が参加することができた。審査については、健全育成推進会役員の皆様にご協力いただき、応募総数のべ113点の中から厳正に審査を行い、金賞作品3点、銀賞作品13点を決定した。



ポスターは学校内各教室に掲示、全家庭及び、庭塚地区全世帯に配付し、健全な子どもの育成に寄与することができた。



過去の金賞作品の看板に引き続き、今年度の金賞作品の看板も作成し、道行く人の目に留まるように学校前のフェンスに設置している。

令和6年度活動資料

水保地区（小学区）青少年健全育成推進会

(1) 実践の意図

本校は全校生60名の小規模校である。純朴な児童が多く、幼少時から郊外のゆったりとした環境で育った子どもたちは自己表現を苦手とする姿が多々見られる。また、学区内に児童養護施設があり、そこから登校する児童は様々な生育歴をもつとともに、集団生活への適応に困難を示したり、自己肯定感をもてずにいるといった姿も見られる。こうした子どもたちに、将来にわたる「生きる力」を育むために、体験活動を通して多くの人々と関わったり、地域のよさを再発見することのできる機会を設けたりすることが大切であると考えている。地域の教育力の低下、地域における各家庭の結び付きの弱さが叫ばれる昨今、こうした問題を双方向的に解決し、児童の健全な育成を図っていくために、交流体験活動を有効に機能させたいと考えた。

(2) 実践内容

① 交流体験活動の計画

回	期 日	内 容	連携に関わった人材・推進担当者
1	8月12日(月)	第1回水保プロジェクト お化け屋敷	地区健全育成委員、保護者 地域の方々

② 実践に当たって

- ・ 関係機関と実施内容についての調整・検討を行う。
- ・ 推進担当者に実施期日の1ヶ月前に案内を出し、打合せ会をもつ。
- ・ 作成した打合せ会要項に沿って、内容の詳細を協議決定する。
- ・ 打合せ会の決定を受け、地区の推進担当者と手分けをして、手配や準備を行う。
- ・ 当日の日程・役割分担・活動内容の詳細に従って、円滑な運営に努める。

③ 交流体験活動（水保プロジェクト）の実際

【第1回水保プロジェクト お化け屋敷】8月12日(月)

地区内でお盆期間に開催される「盆踊り大会」に合わせて、水保小児童並びに水保地区の皆様にも楽しんでもらうとともに一体感を高めることをねらいとして、「お化け屋敷」を開催した。

今回は、ご縁があって、福島学院大学の地域マネジメント学科の先生と学生の方々が関わっていただき、貴重で新鮮な意見を組み込むことができた。

7月12日に役員に集まってお話し、打ち合わせ会を開催した。お化け屋敷が、昨年に引き続きということもあり、新たにテーマ「学校」をもとにそれぞれアイディアを持ち寄ることとなった。

前日に、設置作業を行った。役員だけでなく、保護者、福島学院大学の地域マネジメント学科の先生と学生の方々、地域の中学生や高校生も、たくさんの方が参加してくださった。

当日も昨年に引き続き大盛況で終えることができた。たくさんの方に参加していただき、地区の盆踊りも盛り上げることができた。準備から地域の方と作業をし、地域の中での「人と人の縁」も学ぶ、とても貴重な体験となった。

(3) 考 察 (○：成果 ●：課題)

- どの実践も、児童にとっても地域にとっても意味深いものとなった。また、地域の方々とふれあい活動を通して、地域を見直したり今後の学習活動につないだりする大きなきっかけをつくることができた。
- 体験活動の機会を通じて世代間交流を図ることで、開かれた学校づくりを推進することができた。
- 学校は地域によって支えられている。そしてそこには、お世話になっている貴重な組織や人材の方々がいらっしゃる。今後も、教頭は地域と学校のパイプ役としてつながりを大切にすることはもちろん、子どもたちの健全育成に向けて有機的に活動をコーディネートしていく必要がある。

令和6年度活動資料

飯野地区青少年健全育成推進会

1 活動内容

飯野地区青少年健全育成推進会では、5年ぶりとなる社会を明るくする運動講演会を、福島地区保護司会との共催で「子供たちのメディア利用の現状と危険性」をテーマに開催しました。

また、昨年に引き続き、非行防止活動部会による「ホコ天」および「UFOフェスティバル」等における非行防止パトロールや薬物乱用防止の啓発活動を行いました。

6年度は、前年度に中止となってしまった「ジュニアスケート教室」も再開となり、その他、「危険箇所点検」「小・中学校合同奉仕活動」への支援など、ほぼコロナ禍以前と同様の事業を実施することができました。

2 活動の様子



(社会を明るくする運動講演会)



(「ホコ天」「UFOフェスティバル」パトロール・啓発活動)



(「ジュニアスケート教室」)